

## 第136回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】地域での声掛け訪問について

自治会で社会福祉協議会協力のもと、声掛け訪問を行っている。1人暮らしの方や高齢の方の見守り体制を強化する目的で実施しているが、この活動が拡大せず、現在7割程度の参加率で留まっている。地域にいる民生委員に協力してもらうことはできないか。

また、元気な高齢者を作りたいという思いで毎週サロンなどの活動も行っている。この活動も多くの方に参加してもらいたいが参加率が上がらず困っている。

#### ⇒【村長コメント】

声掛け訪問やサロン活動などへの思いは承知した。民生委員の協力については、普段の活動もあることから、負担をかけすぎないように配慮する必要があることを理解いただきたい。

### 【2-1】東海村テニスコート使用予約の公平性について

東海村テニスコートの管理者、責任者が誰なのかを教えてください。

また、毎月初めにテニスコートの予約を抽選で行っているが、東海村テニス連盟に加入している方が優先的に予約を取れる仕組みになっていると思われる。実状を教えてください。

#### ⇒【村長コメント】

管理者は文化スポーツ振興財団である。公共施設の利用において公平性が欠けている場合は問題がある。実状を確認し、後日連絡する。

#### ⇒【担当課コメント】

テニスコートは、東海村文化・スポーツ振興財団が指定管理者として管理を行っています。

テニスコートの使用予約につきましては、東海村テニス連盟から、テニスコートの各種設備の維持管理に係る作業補助や、東海村スポーツ協会の加盟団体として、イベントや教室等への協力を通じて村の運動・スポーツの推進に貢献していただいていることなどから、これまでは東海村テニス連盟に所属している団体が、他団体に先行してテニスコートの使用予約ができる体制をとってまいりました。

現在、村では利便性のさらなる向上を目指し、令和8年9月を目標に公共施設予約システムの導入に向けて準備を進めており、あわせまして、予約の仕組みにつきましても、様々な視点から協議検討を行っているところです。

### 【2-2】東海村テニスコート使用予約のデジタル化について

テニスコート予約のデジタル化をお願いしたい。

#### ⇒【村長コメント】

デジタル化については、現在公共施設予約システムの導入準備を行っており、LINEから予約ができるように検討している。令和8年の9月利用開始を目指して施策を進めていく。

### 【2-3】歩道上の土について

須和間踏切周辺の歩道に農作業の土が落ちていて、中学生が登下校する際に危ない。

#### ⇒【村長コメント】

耕作者に清掃するようお伝えする。

### 【3-1】感謝状の贈呈について

村立東海病院に勤務する医師の中で感謝状を贈ってほしい医師がいる。

#### ⇒【村長コメント】

検討する。

#### ⇒【担当課コメント】

村立東海病院の医師に対しましてお褒めの言葉を賜りありがとうございます。

該当医師をはじめ、村立東海病院には常勤・非常勤を問わず多くの医師が勤務しており、個別に好意的な御意見等を賜る機会もございます。こうした御意見につきまして村及び病院としては大変ありがたく受け止めさせていただいておりますが、他の医師への配慮の必要もあるため、現時点では特定の医師の功績等に対して感謝状という形での対応予定はございません。

しかしながら、今回賜りました御意見は、病院や医師本人のモチベーションにつながるものですので、お名前を伏せさせていただいた上で、村長自ら病院を運営する公益社団法人地域医療振興協会の幹部に伝達し、このあと医師本人に伝えさせていただきたく存じます。

### 【3-2】文化センター駐車場の工事について

文化センターの駐車場工事が長すぎるのではないかと。

#### ⇒【村長コメント】

工事については、既存の設備を撤去するなど単なる駐車場工事ではなかった事から長い期間を要する工事となった。3月までには終了する予定である。

### 【4】私立大学の集団行動合宿誘致について

現在子どもが私立大学の集団行動の一員として練習に励んでいる。住民の皆さんにも本物の集団行動に触れていただきたいと感じた。東海村を集団行動の合宿先としてぜひ検討していただきたい。

#### ⇒【村長コメント】

10月、11月にまとまった期間、総合体育館が抑えられるか利用状況を確認する。また村内の宿泊施設で100名程度かつ合宿の期間の間、部屋を抑えられる宿泊場所があるかどうかを確認する。実際に合宿が行われている自治体に、合宿を誘致することで住民へどのような効果が生まれるか、村としてのどんなメリットがあるかなども聞いたうえで検討する。

#### ⇒【担当課コメント】

本村の施設や宿泊環境におきまして、集団行動合宿を受入る際の活動拠点となる東海村総合体育館は、合宿が行われる秋季に例年イベントや各種スポーツ大会などが多く入っており、週末にかけての一定期間を全館貸切にすることが困難であるほか、各村内宿泊施設も100名程度の学生をまとめて受け入れることは難しい状況です。

全国的にも有名な該当大学の集団行動を間近に見ることにより、運動・スポーツを魅せる環境づくり、運動・スポーツを核としたにぎわいの創出が図られ、スポーツ推進計画の基本目標である運動・スポーツを通したまちの魅力の発信にもつながることが期待されますが、既に受け入れがある合宿先の自治体へ確認した結果、該当大学と自治体との協定締結や、該当大学とゆかりが深い人物が存在するなど、受入に際しては、該当大学との強固なつながりの構築が不可欠であることが分かりました。現在のところ、村では該当大学との特別なつながりはないことから、現時点においては、本村で該当大学の集団行動合宿を受入ることは難しいと考えております。

**【5】総合体育館や学校の体育館における空調整備について**

夏の時期になると、小中学校の体育館や総合体育館の室温がとても高くなってしまふ。空調設備を早急に設置してほしい。

**⇒【村長コメント】**

来年度には学校の体育館も総合体育館も順次工事に着手する予定である。

※ 他1名の方にご参加いただきました。(コメントは割愛させていただきます。)